

発注企業動向調査結果

-2015.10-

■調査時点 平成27年9月調査(平成27年9月末時点)

■対象企業 150社

■調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

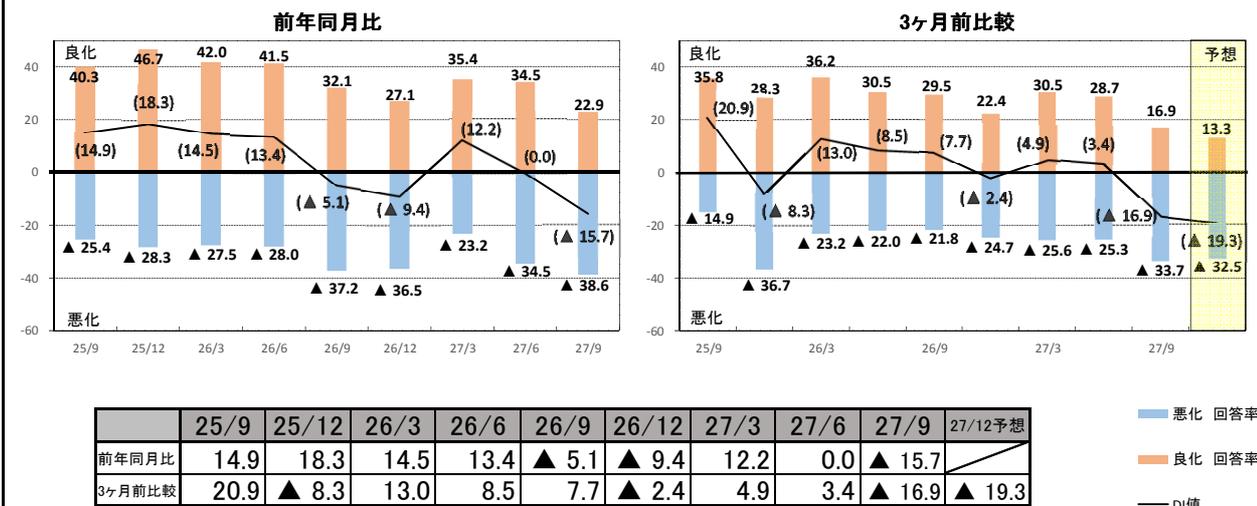
■回答企業 83社(回答率:55.33%)

<業種内訳>

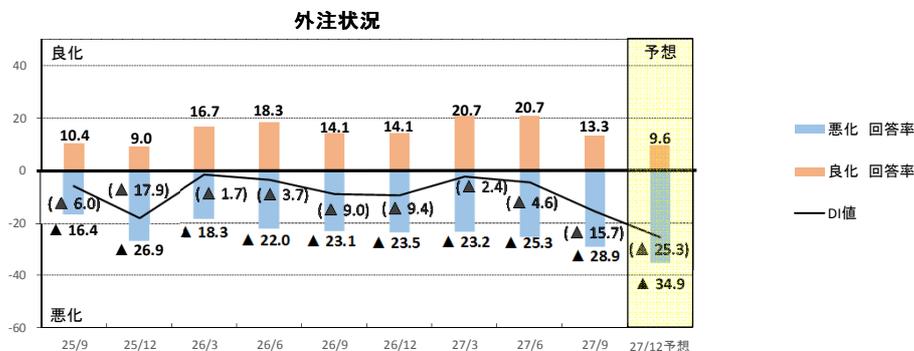
| | |
|--------|-----|
| プラスチック | 7社 |
| 鉄鋼・非鉄 | 10社 |
| 金属製品 | 8社 |
| 一般機械器具 | 16社 |
| 電気機器 | 17社 |
| 輸送用機器 | 17社 |
| 精密機器 | 4社 |
| 縫製 | 4社 |
| 計 | 83社 |

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは(▲15.7)で前回の(0.0)から15.7ポイント減の大幅悪化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは(▲16.9)で前回の(3.4)から20.3ポイント減で大幅悪化となった。
- ・外注状況は(▲15.7)で前回の(▲4.6)から11.1ポイント減の大幅悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲19.3)で2.4ポイント減で悪化、外注状況が(▲25.3)で9.6ポイント減の悪化となった。
- ・生産高、外注状況の大きな減少傾向が見られ、中国を中心とした海外景気の減速が主な原因と考えられる。輸出減や生産の伸び悩みなどが考えられ、海外を相手にする企業にとっては厳しい景況となっている。先行きも不透明で、今後もさらに厳しい状況になると予想する企業も多い。